

# 幼児向け食育応援グッズの制作について

## 〈目的〉

生涯を通じて心身共に健康で豊かな食生活を営んでいくためには、それぞれのライフステージにおいて、必要な「食」に関する能力を習得していくことが大切です。

そこで、幼児期における食育を推進するため、地元山城産の野菜を題材に遊びを通して「食と農」（地産地消）の大切さを学べる食育グッズを制作し、食育の実践を目指します。

## 〈主催〉

京都府山城広域振興局、京都文教短期大学

## 〈概要〉

京都文教短期大学食物栄養学科の学生（2回生 12名、指導者坂本裕子教授）と京都府が協働で企画・制作しました！

### 1 山城地域の農産物栽培地の現地調査

山城地域で栽培されている農産物を知ってもらい関心を高めると共に、これから企画・制作するグッズに山城地域の農産物を取り入れるため、栽培現場を調査しました。

#### 八幡市 露地栽培（なす）



収穫後のなすを生で食べてみました。  
とても甘く梨のようだった。（参加者より）



なすを収穫していただきました。

#### 宇治田原町 ハウス栽培（ミズナ）



ミズナの収穫体験！収穫後、袋詰め体験！  
どれくらい束ねれば200gになるかわからず悪戦苦闘中

### 2 企画・制作

3グループに分かれて、テーマを決め、どのようなグッズにするかを企画し、試作品を制作しました。